

国際都市つくばを考える懇話会 第3回会議 議事録

I 日 時 平成28年6月3日(水) 午前9時00分から午前10時30分まで

II 場 所 つくば市役所3階301会議室

III 出席者 石濱 光輝(後藤 悟志 代理), 岩間 文人, 大島 慎子,
(敬称略) 小峰 光晴, 金 ヨンヒ, 清瀬 一浩(小林 仁 代理),
クロフォード・シェイニー, 小玉 喜三郎, 齊藤 悠介(中山 和樹
代理), 田村 実枝子, 塚本 洋二, 布浦 万代, 不破 正宏,
星名 大介, 山口 拓 以上15名
(事務局) 企画・国際課国際室 室長, 係長, 主任, 主事

IV 内容

1 開会

2 議事

(1) 理念, 基本施策及び個別施策について

事務局 資料のとおり説明した

(2) 各取組について

※協議の中で, (1)の議事と一緒に検討し, 委員の意見を伺った。

○座長 これまで2回やったわけですが, 第1回ではつくば市をめぐる情勢や市民のアンケートの結果についてのご報告をいただきまして, 第2回は指針の骨格についてご議論伺いました。これらについては皆様からご意見をいただいておりますが, 今日はそれら全体につきまして, 特に最初に指針の体系理念, 基本施策や個施の部分をここでまとめて参りたいと思います。それでは, 議事の(1)に従いまして, 理念, 基本施策及び個別施策についてということで, 皆さん事前にお読みになっていると思いますので, 主に変わったところと, 或いは付け加えたところの説明を

お願いします。

○事務局　それでは説明をさせていただきます。本日ご提示した案ですが、これはパブリックコメントを前提といたしまして、写真等をつけさせていただきましたが、本文そのものについてはほとんど変わっておりません。ほとんどというのは、若干付け加えさせていただいたところがありまして、24 ページの下のほうです。(2) 人や投資を呼び込みつくばの発展につなげる、①グローバル化教育の充実を世界に発信するという中で、1 番最後の 2 行ですが、「このような充実したつくばのグローバル化教育のシステムを、関係機関と支援していくとともに、世界に発信していきます。」の「支援」という部分が抜けておりましたので、「支援」という言葉を付け加えさせていただきました。

その他につきましては、以前お送りさせていただいたものと一緒であります。今回の提案のポイントでございますが、過去 2 回の会議におきましては、体系の見直しは分かるが、各施策について誰が対象か分からないというご指摘がありました。こちらにつきましては、資料の 26 ページに体系的にまとめましたが、具体的には、例えば個別施策で、「外国人を対象としたもの」、「市民を対象としたもの」ということで、対象を明確化させていただきました。また、主な取組につきましても、文言を見ただけでどういったことをやろうとしているのかが分かるようなイメージにさせていただいたというところでございます。

似たような指摘といたしまして、何を目的としているかわからないというご指摘もありました。こちらにつきましては、それぞれの取組が何を主としているのか、例えば姉妹都市交流であれば、19 ページの下の方に、⑤姉妹都市をいかした市民交流の促進とありますが、こちらにつきましては、16 ページの④公立学校におけるグローバル化対応能力の強

化、これ自体はお越しいただく外国人の児童・生徒への支援ということなのですけれども、これを 24 ページの下にあります、(2) ①グローバル化教育の充実を世界に発信する、ということで主の目的は外国人支援なのですが、それを世界に発信するということをつくばの発展に繋がるといふことで、同じような取組がでてこないような、そんな作りをさせていただいております。

国際化とグローバル化という言葉についてご指摘もいただきました。こちらにつきましては、いろいろな場面で議論がなされていたところですが、従前の取組に対しましては国際化という言葉を使っております。これからは国境を意識しないといったイメージで、つくばとしても推奨していこうと思っておりますので、今後の取り組みについてはグローバル化という言葉を使うようにしております。こちらにつきまして、今回の資料で一番大きく変わりましたのは、資料のタイトル「第2次つくば国際化基本指針」という「第2次」という言葉につきましては、今回のパブリックコメントの決裁のときに、岡田副市長から指摘があったもので、前回との区別をつけるために第2次とつけさせていただいたのですが、今申し上げた国際化とグローバル化という言葉のこともありますので、この機会に、茨城県の国際化推進計画ですか、そちらもグローバル化という言葉になおっているのですが、つくば市の方もこの機会に、例えば、「つくば市グローバル化基本指針」という名称に変えてみてはいかがかな、と思っているところでございます。これにつきましては、委員さんにお話し合いをしていただければと思います。主な変更点につきましては以上です。どうぞよろしく願いいたします。

○座長 それでは、全体構成についてご議論いただければと思いますので、質問・ご意見等いただければと思います。今言われた「国際化」を「グロ

ーバル化」にする点については、ここで議論するわけですか。

○事務局　　そうです。

○座長　　例えばそれは第2次というのを変えて、「つくば市グローバル化基本指針」にするという案ですか。

○事務局　　はい。第2次をとって、名称自体を「つくば市グローバル化基本指針」という名前にするという事です。

○座長　　最終的には市に決めていただくとして、皆さんからご意見いただければと思います。

○委員　　特にご異論なければ、私共の方で進めさせていただきます。私としましては、グローバル化という意見が前回あったということで、それを尊重させていただきまして、また、異論もなかったということで、「つくば市グローバル化基本指針」という名称で進めてまいりたいと考えております。ご異論なければ。

○座長　　よろしいでしょうか。ご異論なければ反映させていただきます。

○委員　　ありがとうございます。

○座長　　それでは、それ以外で、写真をもっと追加するかもしれませんが、写真も含めて全体の構成についていかがでしょうか。では、ざっと頭からやっていきましょうか。1～2ページ。これは特に前と変わっている点

というのは、情勢が変わったということと、グローバル化になったということと、ざっといいますが、3ページ以降の、ここは現状ですので、以前にお読みになったときにお気付きになられた点があれば、最後のチャンスですので、いかがでしょうか。

○委員　　すごく小さなことなのですが、29の国等研究・教育機関が集積し、全部合わせると300にも及ぶと書いてありますが、国等の等って何ですか。国の研究機関が29ある。等は必要なのか、と思ったのですが。

○委員　　独立行政法人とか、そういうのを正確に言おうとすると…

○委員　　それは等にしなければいけないのですね。分かりました。

○委員　　茨城県が出している計画との整合性について記す必要はないのですか。

○事務局　　上位的なものとなるのかということですか。

○委員　　そうです。目次を見てもすごく似ていて、内容はつくば市特別なものと茨城県のものがあって、茨城県にあってつくば市にないもの。例えば、国際協力の推進というものがあるが、こっちには入っていない。つくばには国際交流はある。

○委員　　基本的に県と市の関係で申しますと、上も下もない、ということでもあります。そこはだぶっても良いし、つくば市だけあっても良い。この会の中でも県のプランを策定した委員も入ってくださっているというこ

ともあるので、そこは、さほど気にされなくてもよろしいかと思います。それともう一つ、逆に今回のG7でもそうでしょうし、県として、茨城県をPRしようとするときに、つくばはとても大きなコンテンツになっているというところもあって、これは相互に乗り入れる感じというのがあるのも良いと思います。正確にいうと、我々は県が茨城をPRしようと思ったときに、当然つくばの名前は出てくるので、ずるい言い方かもしれませんが、果実をうまく利用するという側面は県のプランと私共のプランとちょっと違うかもしれませんが。そのような関係になっていると理解してください。

○委員 それを考えると、この「29の国等の研究・教育機関が集積し、民間研究所や関連産業を合わせると約300にも及ぶ～」とありますが、そういう組織があるよ、という枠をみせて、そこがこの活動とどう関わっているのかが分かったりとか、一覧があったり、あと一番後ろにあった26ページ、これが最初に来たほうが、もしかしたら分かりやすいのではないかと。例えば、これが全体像なのかと。

○委員 アウトルックとして最初に入っていたほうが良いということですね。

○座長 もちろん資料としてどっちにあっても良いわけですが、やはり基本指針はちょっと体裁があるのではないかと思いますので、私もちょっと悩んだのですが、前回の指針はとても簡単なもので、いかにも基本指針らしいと、抽象的なのですよね。

○委員 これを最初から最後まで読む市民はどのくらいいるのかと言うと、かなり厳しいかと思います。もちろんこれを世に出すときは、ダイジェス

ト版を作るのですよ。そこで体系とか思想とか、具体的にここで何を図ろうかと思っているのかを、紙1枚になるか、なるべく1枚で、限界があつたら2枚で、ということで図っていくと考えておりますので、場合によっては、市民の方でご興味がある方は、こちらを読み込むといった位置関係でやればよろしいのかもしれないですね。

○座長 その概要の中に、何ページって書いてあれば良いかもしれないですね。

○委員 そうですね。そこはお約束させていただきます。

○委員 市役所の問合せ先も。

○委員 そうですね。

○委員 それぞれの問合せ先とか。

○委員 これは難しいのは、関係部局は市役所だけではないのです。県さんとか、市の中の研究機関であつたりとか、国の窓口だつたりとか。やはり、私共がトータルとして国際室として新しく室ができたところを考えますと、国際室のところですべての問合せ先になり、すぐ解決ではなくて、何でもご相談ください、と前面に出た方がむしろ良いかもしれませんね。お客様のお声をうまく聞きながら、それでしたらこちらのどうぞ、とか言えるようなスキルをそういった形で。

○委員 市民の方もその方が。

○委員 若干不親切だと思うのですよね。ここはこっちに聞いてというのは。ただ、多くのお問い合わせがあるところは書いて然るべきだと思います。例えば、通訳を探しているという方がすごく多いのであれば、交流協会の方の問合せも併記するとか。そこは少し実態に合わせてやって参りたいと思います。

○座長 基本指針のガイドの末尾とかに。

○委員 必ず問合せ先は必要ですね。それは市としての広報のルールとなっていて、必ず出すときは問合せ先を明記する。

○座長 主な機関の所在も、色んな協会・団体ありますから、リストをつけていただくのはどうでしょうか。

○委員 確実にさせていただきます。

○委員 さっきの内容のことなのですが、私は外国人として、基本指針の体系の 26 ページの方を見て、これはとても分かりやすくなっていると。この 1 冊を見るということは、外国人はプレッシャーを感じるのですけれども、26 ページの方を先にみると分かりやすくなっているなと思います。

○座長 概要につけるという手もありまよね。

○委員 指針の前に概要をつけて。ダイジェストの中にもこれが入って。

○委員 そうですね。先に目に付くと良いなと思いますね。

○座長 11 ページまで何かお気づきのところがありますか。もちろんそれ以外でも。また随時もどりますけど。この間特に前回の委員会以降でいただいた意見はありますか。

○事務局 特にありません。

○座長 そうですか。

○委員 補足させていただいてよろしいでしょうか。前回から今回の間に、状況の変化。つくばインターナショナルスクールで新しい校舎ができて、またバカロレア取得に向けて加速するという嬉しいニュースがあり、また、G7の科学技術大臣会合につきましても、オペレーションそのものについては成功に終わって、後はその実績をどういう風に展開していくのか、という段階になっているというのが1つ、前回の委員会から今回の委員会の間にあった状況の変化。大きな変化ということで言いますと、すでに書き込んではいませんが、G7結果なども踏まえて、科学技術振興部とも連携して、まだパブコメのタイミングで修正する可能性もあるので、その部分で微修正をしていきたいと考えております。

○座長 本当に、これをバネに、まさに国際都市、科学技術都市がということで、これをバネに今後5年間を。

○委員 そうですね。早速効果も出始めておりまして、定例的なものではございませんが、昨日市の記者会見がありまして、その前に庁議というのが

あって、各部の部長さんが集まって今どういう動きをしているのか、何か課題があったらということで、市長を含め、判断する場があるのですが、そこでG7の結果の報告があって、すでに観光施設のお客様の予約が増えているという喜ばしいニュースがあるということも報告されました。また、外務省の公館でも、県の方で大きなイベントを行いまして、多くつくばの言葉が飛び交った、という風に聞いておりますし、今回の開催と実績が直接的なだけでなく、間接的にも大きな加速力になっていくのは喜ばしい結果なのかなと。もちろん課題についてはしっかり反省しながら次のオペレーションに向けて、そこは修正できるようにしていきたいと考えております。そういう動きがあったといことを補足というか説明させていただきました。

○座長　私も一部の会合に参加いたしましたけれども、3月のハイスクールサミットから始まって、公開シンポジウムでも高校生が大勢来ていました。これはつくばならではのことで、特に将来の世代に向けて是非それをサポートしていかなければいけないと。フォローしていただければなと思っております。とりあえず11ページの、ちょっと細かいことですが、10ページの(3)課題解決に向けた施策とその方向性と書いてあって、(2)は、大きな8ページの4は、グローバル化に向けた課題とその解決に向けた施策の方向性で、その課題は(1)(2)になっていて、それで(3)課題解決に向けた施策とその方向性の1～2行目に「つくば市のグローバル化における現状の課題は(1)(2)における指摘事項及びⅡ-3に掲げたグローバルな環境の変化への対応です」と書いてあって、それは良いのですが、(2)のところでは何かまとめがあるのかなと思ったのですが、これはこれで良いのかな。(2)でまとめがあって、(3)で課題解決とあって、これはこれで、まあ良

いのかな。

○委員 並列でおいておくと分かりにくいので、(2)のところを参考に下においておくということでしょうか。

○座長 (2)の最後に、以上のように…ということで、でも(2)の中に入れるのはおかしいな。書きぶりだけですから、結構です、今の。

○委員 グローバルMICEですが、グローバルMICEの説明がなく、例えば10ページに、もしかしてこれが最初にグローバルMICEという言葉が出てきているのではないかと思います。22ページには、グローバルMICEが何だという説明がある。たいていこういうのは最初に入れるのかと、付け加えた方が良くもしいない。

○事務局 これは入れ替えます。

○委員 このMICEはどういう…。

○委員 Meeting, Incentive, Congress (または Convention), Exhibition

○委員 それを書いた方が良くと思います。MICEを書いたほうがよい。一応英語を正確に。

○委員 書いた方がよい。国際会議等って後ろの方に書いてあるけど。

○座長 これをマイルスと読むわけでしょうけど。今はマイルスってカタカナにな

っているのでしょうか。

○委員 そうするとねずみの複数とってしまう人もいる。

○座長 その他お気づきのところはありますか。11 ページまでですけど。写真等についてもどうでしょう。

○事務局 写真につきましては、各関係機関に属している委員さんでこの写真使いたいというのがあれば、使いたいと思います。

○座長 通常の指針には写真は入れますか。

○委員 通常入れませんが、これには入れた方が良くと思います。

○座長 科学技術基本指針には入っていますか。

○事務局 入っています。

○委員 7ページの写真ですが、違うものにしたいと思います。この先生があまりこういうのが好きではないので、同じような場面の写真を送ります。

○委員 そうですね。そういう配慮は必要ですね。

○座長 では、先の方に進みます。12 ページからはいよいよ理念ということで、ここでは3つですね。ここはまあ、或いは 13 ページ。前回もありまし

たように、今回はこの、1、多文化共生社会が実現するまちというのが、今回も量的には多いわけですが、それを踏まえて、グローバル化という情勢の中で、世界に出ていくというか、羽ばたくというか、前回も出ましたが、はっきり動かなかったというのを今回は明確に書いてあると。また、3は多くの人を呼び込むためにプロモーションをするという点が2・3新たに明示されたかと思いますが。まあどうしても先ほどの個別の施策でまたがることも当然ありますが、これは3本の方向性を目指してやっているのだという位置づけがありますので。では、14ページ以降は議題2ということで良いでしょうか。

○事務局　　そうですね。

○座長　　では、議事の2も続けてやりますけれども、何かありますでしょうか。

○事務局　　先程ちょっと体系図をどこにおいたら良いか、というこがあったかと思いますが、例えばページでいいますと、12・13というところでこういったことをやっていくのだという体系図を盛り込むといった形にしてはどうかと思います。

○座長　　13ページと14ページの方に先ほどの体系図を入れるということもありますし、概要版というのが1ページ目に作るので、裏側にこの26ページというものも、まあこのへんはどちらでも良いかなと思いますが。概要版を作ってみてそれから検討しても良いかもしれませんね。

○委員　　そうですね。

○委員 先ほど他の委員がおっしゃったように、言葉が分からないので、文字の説明というのも前か最後のどちらかに入った方が良いと思います。ページがまた増えてしまうとあれですが、文章中に書いてしまうと、何を言っているのか分からなくなってしまうので、最初か最後のところに入れると分かり易いですね。

○事務局 戦略プランでも最後に用語解説ということでもありますので。

○委員 どこまでが分からないか難しいですが。例えばインバウンドとか。一応海外からの旅行者、と書いてありますがこれが読みやすいのか。文中の一番下に脚注として入れた方が良いのか。

○事務局 MICEではないですが、最初に出てきたときに説明をしたら、次出たときに分かるだろうとなってしまうのですが、共通して用語解説ということで付けた方が親切だと思います。

○座長 本文のことだけ机上にあるのですが、前回もそうですが、後ろの方に資料編というのは付くのですか。

○事務局 資料編としましては、今後、設置要項や委員名簿等を入れようと思っております。

○座長 今回本文中に入っているこういうグラフとかっていうのは入れないのですか。

○事務局 ページの中に入ってしまうよりかは、後ろに入れた方が良くないかと思

ます。

○座長 資料編には設置要項とか委員名簿とか入るでしょうけど、もし量があるなら、用語解説とかってというのはあった方が良くもしいないですね。

○委員 賛成なのは、国際バカロレアは何か分からない人も多いと思いますよ。もちろん大学入学認定資格ですが、これを見ると、国際バカロレアはMYPですとか、DPとか書いてあり、要するに、一般の人が見たら、意味がわからないのではないかと。どこかに説明した方が良くという気がします。資料編の作成か注釈はつける必要はありますね。

○座長 用語解説が必要だと思う用語があれば、後でもまた皆さんからでも、その部分アンダーラインとかしてもらって。多分当事者は全然疑問に思わないかもしれない。市民目線で見るとこれと思う言葉があったら、MICEとか、先程の国「等」とか、まあ、いちいち全部挙げる必要はないと思いますが。

○委員 すみません、よろしいですか。先ほどの注釈ですが10ページのMICEがあって、22ページでMICEは国際会議等の総称と後ろにきているのですね。お気付きかと思いますが、やはり、前の方に持ってくるか、後ろの方で用語解説をするか、レファレンスは結構あるみたいですね。

○座長 22ページのこの説明だけだと必ずしも正確とは言えないかもしれない。

○委員 それは先ほど、Congress とか Incentive とか入れた方が良くと他の委員が最初におっしゃっていますから。

○座長 まあM I C Eというのが言葉だけではなく、今どんな背景の話なのか。例えば、国土交通省ですか、どこか分かりませんが、そういうことの解説が若干あった方が。文中にはちょっと難しいでしょうから。場合によっては用語解説で書いていただくと良いかなという気がしますね。つくば市と姉妹都市・友好都市関係を結んでいるところの名前やリストなんかもあると良いかなと。ここでは限られたものしか書いてありませんけれども。

○事務局 どんな交流をしているかというのも。

○座長 後で皆様これはと思う用語があればアンダーラインをしていただいて。では、14 ページ以降の主な取組のところも含めて全体的な、最後まで。14 ページからは、まずは1 番の多分化共生が実現するまちということで、ここはかなり量がありまして。

○委員 すみません。18 ページに③として、学校における国際理解教育の充実とあるのですが、4 月に茨城県から学校教育指導方針というのが出まして、説明を受けた際に、時代の変化やグローバル社会に対応できる教育の推進の中の、これまで国際理解教育と言われていたものが、国際教育に用語が変わりまして、多分これが県の動向かと思ひまして、内容はそんなに変わらないとは思いますが、国際教育というような用語の方が良いのかなと思ひますがいかがでしょうか。

- 委員 国際教育だと曖昧ですよ。
- 座長 そのころは何なのですか。その用語を変えたのは。
- 委員 何か聞いていますか？
- 委員 私は特に聞いていません。
- 委員 県の指導方針をもって私たちは教育にあたるわけなのですが、この中の国際教育を…。
- 委員 学校の中での国際教育なら分かる。これに限ると分かりますけど、これを市全体で言うと、教育者だけを言うのではなくて、国際教育だと色々思い浮かぶから、国際理解教育だと分かり易いのかなと。まあ私は外国人だから分からないですけど。
- 委員 今おっしゃったのは、わざわざここに学校におけると書いてあるため、学校の先生のお立場では、県から、国際理解教育の文言が国際教育と変わったと言われているので、一回調べたほうが良いだろうという意味ですよ。
- 委員 あえて国際理解教育から国際教育に変わったのは一歩進んでいる。今までずっと理解できましたので、その中には国際社会で活躍できる人材の育成とか、国際理解教育の充実を更にとというようなことで、また日本語指導者教育の充実とか入っていますし、そういうようなところがありましたものですから。

○委員 たぶん、これまでは日本人が外国の文化を理解するといったような日本人対象というイメージしかないのでしょうか。でも今は色々な国籍の子が学校にいるから、日本人が外国人を理解するという事だけではなくて、さまざまなバックグラウンドの子供たちが、多様な文化を理解しようという方向に変わってきているのかもしれない。

○委員 そうすると定義が変わってしまいますね。それでは、ここはちょっと市の教育局と県とか連携しながら意見交換をさせてもらって、もし定義が変わっていると、中の文章も変えなければいけないので、別に県に合わせる必要はなくて、我々はどう思うかであって、前提として、学校の現場では今国際を理解する教育しかなかったのだから、これから大きく変わって、外国の方も含めた教育なのだとすると、下の文章を見直さなければならぬ。改めてお伺いしなければならぬので、ちょっと考えさせてください。学校現場での主に邦人学生が海外若しくは多文化という教育を前提としていましたけれども、我々が目指す現実と、これからはどうなるのかというものはそこよろしいですか。つまり、県が大きく方向を変えたとか、そうした形で内容を変えたとしても、我々はここで踏みとどまった方がよろしいですか。それともやっぱり県に合わせてそれが現場で変わっていくならそれに合わせた方がよろしいということではよろしいでしょうか。

○委員 指導する内容が変わっているわけではないです。ただ、グローバル社会に対応できる教育の推進の中の国際理解が国際教育となって広がったり、前に進んだりというイメージを私は感じております。

○委員 ではそこも含めて委員の皆様のご理解がいただけるのであれば、その方向性で。

○座長 つくばに関しては、外国人市民も理解してということも含めて、実態的には先ほど言ったようなことで。

○委員 では事務局で考えさせていただいて改めておはかりさせていただきます。

○座長 ここはチェックをお願いいたします。

○委員 ちょっと1点。主な取組の並び順なのですが、この手の計画は、重要な順に並べることが多いと思いますが、そう考えると、連携の強化が最初で良いのかという印象がありまして、色々課題を見てみると道路標識と外国語表記とか、交流イベントをもっとやった方が良いとか市民の方の意見もあったりするので、順番的にはどっちかというところ⑤とか、16～17ページに書いてあるような、グローバル化対応推進、イベントの推進、スポーツを通じた国際交流の推進がむしろ前の方に来て、連携強化とかはむしろ後の方で良いのかなと。

○事務局 そこにつきまして、関係機関の連携強化は重要課題と思っております。昔から外国の方が多くいるということで、数多くの民間や市民による団体がありますが、横の連携がなされていないというのが長年の課題でして、一番前にやりたいということでもあります。

○委員 市として、その取組が一番重要と考えて、そういう並び順にしている

のであればいいと思います。

○事務局　それは委員さんの間で意見があればいただきたい。

○座長　ここは違和感なく（１）で７つ。（２）では①から⑥まで。冒頭とか最後で何かご意見はありますか。入れ替えとか。今の冒頭①は基本指針は市役所の施策だけでなく関係機関も皆で市を挙げての基本指針ということで、こういう風なのが頭にきたということでご理解いただければ。⑦はいかがですか。まあどれもほぼ同じようなものだから。

○委員　私から見ると②が一番大事だと思いますけど。外国人への生活支援の充実。突発的にあるイベントでなく、ずっとこれをやらなければいけないから。それと、この 15 ページの、これは多分パブリックコメントで出てくるかもしれないですけど、こういうことをやる都市は大体、外国人のスタッフが一人くらいいると思います。JETプログラムとしてCIRを呼ぶとか。そういうような体制をとると、これを更に充実させると私は思います。この場で今のタイミングで言った方が良いのかどうかちょっと分かりませんが、こういうようなことを日本人だけでやるというのは、ちょっとあり得ないと私は思います。やっぱり一人ぐらい他の国から来ている人を入れると、その人達の立場を考えることができるのではないかと思います。JETプログラムというのは、外国人を日本に呼んで、AET、ALTとかがメインなのですが、それプラス、国際交流員・CIR-Coordinator for International Relationsとか、他にスポーツ支援何とかというのもあるけど、CIRがつくばにいないのが前から不思議だと思っていました。前はいましたけど、そのポジションがなくなったから、それから外国人同士の距離がある。こういうのを

やるにはやっぱり一人ぐらいの外国人スタッフがいた方が良いと私は
思います。中国人でも良いし。英語圏でなくても。

○事務局 市ではJETではありませんが、公募しまして、実際中国人のCIR
もおりますし、日本人ですが海外経験の豊富な日本人のCIRもおりま
す。

○委員 中国人もいますか。

○事務局 おります。国際室に。中国語と英語と二人です。公募によりますので、
選考の結果採用したのが、結果的には英語の方は日本人ですけれども。
中国語に関しては中国人です。

○座長 この個別施策の順番をどうするか。まさに先ほどの課題ですが、課題
に順位がないので、こういう議論になってしまうのですが。

○委員 こちらの17ページの(2)というのは今の事例と関連するが、市民を
対象とした国際社会への適応能力の育成とありますよね。これ例えば企
業の場合は、まずトップが先陣をきるので、その意味からすると、行政
のグローバル化対応が最初にくるべきということですね。ここに臨時職
員など書かないで、外国人職員とか明確にする。つまり行政の方がシビ
ル・サーバントとしてまず開始しますよと始めて、次に市民における活
動を書くべきではないか。これは別に市のものだから、こういう順番で
あるべきものなのかもしれませんが、私は行政のグローバル化対応が一
番大事と思うところがあります。

○委員 それは地方公務員法とかあるのですよ。

○委員 そういうものがあると、パブリックコメントとかしても殆どの人が意味を分からないかもしれませんね。そこはちょっとそういう印象を持ちましたということです。

○座長 順番についてはどうでしょうか。

○委員 順番は行政から始まって市民と一緒にやっていきますという方が何となく分かりやすいと思いました。ただ、これはお任せします。

○座長 まず何をやるというのを書いて、どういう手段でやる、連携とかあれば良いのかなと思います。まず何をやりますよと言うときに、まずは外国人が住みやすい街を作りますと。

○委員 そこは、まず（１）②外国人の生活支援への充実、一番重要だから前に持っていきます。一方で、これまで指摘されてきた課題の対応としての関係機関との連携強化は後ろにもっていきまして、それ以外に、③④⑤⑥、それ以降のところにつきましては、ある程度どれも重要なのですが、並列と考えて、この順番という形でよろしいでしょうか。②を①にして、①につきましては、（１）の最後、⑦にすると。要はこういった様々な取り組みをする上で、これまでの課題として様々な機関との連携を指摘されたところなのでしっかりやるということで。とすると、先程委員がおっしゃられた（２）のところの、まあ本当はトップが汗かいてやらなければいけないかもしれないのですが、同じ位置付けで。お約束させていただきたいのは、国際室には、外国での生活や学習等の経験

が当然豊富な職員がいる一方で、逆に全く海外に行ったこともない我々もここに住んで様々な経験をしている。だからこそその難しさとか新しく海外の方との国際交流をしていく人間の言葉を代弁するのもやはり大事だと思うのですね。それは両方の世界がバランスよく入っていることが重要だと思いますので。そういった意味でそれはただ単に、国際室だけではなくて、ここに書いてあるとおり市全体で、国際都市なわけですからつくばは。市職員全員が国際という感覚、多文化共生という色んな考え方が普通にあるということを理解できる市の職員になっていくための努力は、国際室を中心に発信していくことをお約束したいと思います。

○委員 この、オリンピックといたら必ずパラリンピックはいれないといけないのではないかと思いますね。

○委員 市全体が大事ですよ。国際室ではなく、オンブズマンとかの立場にすると助かります。国際室だけだと、できることが限られるから。外国人の方を市全体が見られるような。

○委員 逆に言うと国際室では何もできないのですよ。我々はコンテンツがないのです。要は、例えばこの間タイの副首相が来ましたとなれば、科学技術の説明をする、それからこの間はイランのお客様が来た、つくば市の環境の取組について知りたいとなれば環境部局のスタッフを集めて、チームを作ってやるのですね。その時我々が間に入って、直接スタッフと海外の方を繋ぐという経験を積んでいくので、それはおのずと広がっていくものだと思います。ただどうしても接触の度合いが薄いところがあるので、その方については体験として学べないので、どういう風に伝

えるかという課題はありますが、そこは考えながらやっていきたいと思
います。

○座長 よろしいでしょうか。今特に順番について出ましたけど、基本施策の
大きな1番或いは2番以降もありまして、21ページ以降も①②、まあそ
ういう構成になっておりますが。基本的に何をやるかということ进行全面
に出しまして、どうやるかということは個別施策の方でやると。

○委員 ここは実績が前の方にきておりまして。前回の基本指針の第2次でや
ることを考えておりましたから。それまでの間にこんなことをやりまし
たというのがどうしても21ページ、22ページにあって頑張りますとい
うことで実績という形になってはいますけども、説明の仕方としてはこれ
もありなのではないかと思っております。何もやってないにも関わらず
これからやりますでは説得力がないので。これまでこういった取組を直
近でも行っているので説得力があるかなということで、21・22はこれで
ご理解いただければ有難いと考えております。

○座長 これはこれから目指す方向性ですからね。①②も。どちらも目標を加
えて。

○委員 16ページの⑥国際交流イベントの推進と、⑦スポーツを通じた国際交
流の推進ですが、タイトルだけみると一緒でもよいのかという感じがす
るのですが。細かく読み込んでいくと少し対象が違うということはある
ますが、一つでもよいのかなと思いました。

○事務局 国際交流の中でも特出ししておりますが、一つでも良いのかと思いま

す。

○委員 スポーツ等にして一つにしたら良いかも。スポーツっていうのが見出しにくるように。

○事務局 そうですね。

○委員 ではここは統合する方向で、かつタイトルの中にはスポーツが見えるような形で。役所の事情があるのでご理解ください。

○座長 16 ページの、国際交流フェアとかですね、フェスティバルとかっていう言葉が出てくるのだけど、知っている人は知っているのだけど、知らない人は知らないかもしれない。

○委員 そうですね。ここは用語解説で毎年何月に行われる、こんな規模のこんなイベントとか会場ここで、とかですね、そんなものを入れさせていただきます。

○座長 つくばワールドフットサルも知っている人は知っているが…。そう考えると、用語解説は結構ありそうですね

○委員 そうですね。必ずつけます。

○委員 オリンピック、パラリンピックのところは議事とらなくてよいのですか。

○座長 先程のオリンピックのところにはパラリンピックを入れるというのは…。

○委員 入れます。

○座長 大事なところでしたね。今2の最後のところで結構ですが特に順番もこれで良いかとかありましたので、24ページは③までありますが。

○委員 ちょっと戻ってしまうかもしれませんが、17ページの(2)①でハラールの話が出てくるのですが、つくば市、現状でハラール飲食店とかがどのくらいあるか、そういった現状把握はされているかどうか。

○委員 大学の社会人学生がハラールレストランを5件やっています。だから、レストランの数はあるので、お調べになると…。

○委員 認証機関があればそこに問い合わせ、つくば市って書いてあるところを探せば良いのではないかと思います。どこで認証するの。市が認定するわけではないからね。どこか認証機関があるのでしょうか、きっと。

○事務局 経済部の方でそういったことを把握していますので。

○委員 インドネシアが増えているからハラールで良いと思いますが、実はいくつか他にもありまして、イスラエル系の人達のコーシャとか。

○委員 コーシャミールもつくばにあるのですか。

○委員　　これまで増えた人数の統計がどっかにあるので、ハラールだけでよいのかと思いますが、書いたらやらなきゃいけなくなっちゃうので。

○委員　　ハラールとかコーシャ等とかにした方が良い。

○委員　　そうかもしれないですね。では、そこは2つを例示で書いて、あとは「等」で。

○委員　　なぜイスラム圏の外国人にだけスポットをあてているのか。

○委員　　それは前回の基本方針からこれまでの間にどういう環境の変化があったかと聞かれたときに説明し、例えば、その環境の変化を受けて今回のこれではって言った時のどこかに書いておかなければいけないのですが。大きな変化ではないのだけれども、前の5年間との間に変わった、前の基本方針を作った時点での状況と何が変わってそれにどう対応しているのかという例示の1つなのですよ。

○委員　　3ページのところにわざわざ赤字で書いているのは2か国だけなのですよ。これについて説明はどこにも書いてないのかな。まあそれはいいのですが、3ページの表をもとにしているというので良いのかな。

○委員　　17 ページに補足して、最近インドシア人が増加している等、イスラム教の方が増えているとか1文あると良いのではないか。

○委員　　3ページとの連携が見えるような形にいたします。

○委員 日本全土的にハラールは進んできていて、大学の学食でもハラール対応をしているとか、多分筑波大の学食も認証されていると思います。だからインドネシア人が増えていると特定するのは多少問題とお考えかもしれませんが、国際常識としては、東京でもハラール対応は当然のことなので、唐突というイメージではないと思います。私はこの場合、インドネシアと書いていただいても良いと思います。

○委員 イスラム系の外国人が増えているということで、インドネシア人が増えているからと書かない方が良いと思います。イスラム教にこだわらないで。

○委員 ここはこだわらないで、「※」でも良いので、外国人の国籍別の増減が3ページに書いてあると書けば良い。

○座長 つくばは日本の縮図という意味合いもあるので…。

○委員 いや、縮図ではないと思います。研究者とかが多いわけですから、労働者とは違いますので、縮図ではないですね。

○委員 つくば市さんとして、最近人口が増加しているイスラム教を重要視してサポートするということなのか、それとも宗教的に色んなバックグラウンドを持っている方を幅広くサポートすることを意図し、例示としてイスラム教を出すのかで書き方が変わってくると思います。

○委員 それは当然後者なのだけれども、例示として挙げられるのが、現在我

々の感覚としてはハラールしかなかったからそう書いているだけで、そこは、今おっしゃられたコーシャ等という形で表現することによって解決しようと思っています。

○委員 わざわざコーシャと書く必要がありますかね。

○委員 書いたほうが良いと思います。ハラールだけだと片方になってしまう。なので、例として、ハラール、コーシャ等として、それだけを集中して支援しているだけではないとした方が良いでしょう。

○委員 コーシャの説明が面倒くさいのであれば、ベジタリアンとか。インド系の方とかそっちなので。

○委員 インド系の方は結構ベジタリアンですよ。ハラール、コーシャ、ベジタリアン等とか。これは住んでいる人だけでなく、観光で来ている人への対応にも繋がるので。

○座長 書きぶり大丈夫でしょうか。

○委員 はい、ちょっとやらせてください。大丈夫です。

○座長 非常に重要なことなので。他にございますか。前後して大丈夫です。

○委員 これパブリックコメントに出しますよね。英語版とか要約版は出しますか？

○事務局 検討してまいります。これは最初に出たときに、カナがふってあって、果たして読み取れるのかが問題となったので、せめて英語版くらいは検討して、パブリックコメントに間に合うかなんですが。

○委員 外国人のスタッフだったら、これは一日だったらできそう。概要だけでも良いですけど。この体系図と、あと具其他的に例としてこれみたいな感じでそしてそれを。パブリックコメント事態を外国人が把握してないです。パブリックコメントができる、自分の意見ができるというのを分かってないですから。そういうことも、どういう風な体制を取るか、当然外国人の意見も入れないといけないのですよね。そういう体制もちょっと考えてほしいです。

○座長 色々な場面でこの基本指針について外国人の方の意見も聞くチャンネルを作る。

○委員 それはやっぱり連携の話が出てきます。多分市としてはできないと思います。直接市がニューズレターとかに出してパブリックコメントに参加してくださいとか書いても、外国人はそれを見ないとか、何が何なのか分からないから参加しないけど、例えば虹の会とかT I Sとか、色々な国際交流協会とかと連携をして、外国人の目に届くように特に努力しなければならない。

○座長 国際交流協会でもこれをネタにして、市民と意見交換というのをしましたが、そのとき英語版、中国語版があったかな。

○委員 パブリックコメントに出す資料をできれば英語版にしてほしいです。

○座長 ダイジェスト版でも間に合えばぜひ。

○委員 あともう一つ。終わった後にご依頼させてもらおうと思ったのですが、パブリックコメントに挙げたときの、広げ方、どうしても市の方だけですとホームページに挙げたり、市の広報に入れたり、もちろん海外の方との交流のチャンネルはあるのですが、どうしても限界があるので、大変恐縮ですが、委員の皆様にも、それぞれのチャンネルでこういったものが出たと、メールでお送りしますので、ご協力いただけると助かるなと思います。

○座長 期間が限定されますからね。

○委員 個人のコメントとか入ると、市がちゃんと聞いているよと、これを大事に考えているからと見せると、協力しますから。

○座長 では、これは委員の皆様にもご協力いただいて。

○委員 ダイジェスト版は英訳をかけて、パブコメのときにはしっかりとやらせてもらいます。

○座長 全体のことでよろしいですし、その他のことでも。

○委員 21 ページの先ほどの用語の話なのですが、ICTっていうのが良く分からなかったなので、解説を入れてはどうか。あと、その前に1-(2)

-⑥ではなくて、⑤ではないか。

○事務局 ⑤ですね。

○座長 用語についてはとりあえず項目だけでも挙げていって、それ以外にもある場合は皆様にもお知らせください。この後のことはご相談して。よろしいでしょうか。議事の1と2を合わせてやらせていただきましたが、分かりやすくなったと思いますが、市役所を中心として皆様のご協力をいただければと思います。もしなければ、少し早いのですが、その次のその他にうつります。まだご発言なさっていない方も感想でも結構ですので。これで会としては、もう1回あるのかな。

○事務局 もう1回あります。

○座長 会議はパブリックコメントの後にもう1回ございますが。

○委員 先ほど他の委員がおっしゃったときに申し上げれば良かったのですが、県の国際交流協会の会議が先月あったのですが、国際理解教育という言葉を使っていますね。これは高校生の市民講座とか、JICAと連携して色々やっているのですが、使うところで国際理解というのは多分、私共国際理解協会はずっと使ってきたのですが、学校では今おっしゃられたとおり、理解を乗り越えて学校教育の場では、国際教育となったと、新しいものだと思うのですね。教育現場の場ではそうやってきつつあるのかなと。私共はまだ使っていますがね。市民に対してはまだ国際理解教育ということで。

○座長 ほかにございますか。

○委員 J I C A筑波には多くの滞在者がいらっしゃるのですよね。そこが入っていないのは悲しいかなという感じがしまして。それはどこに入るのかなと。

○座長 実際活動していますからどこかに入ってきますよね。例えば 18 ページ。これはたまたま掲載されている方が…。

○委員 各学校に J I C Aは相当行っていますよね

○委員 これに関しましては、ワールドキャラバンというシステムを国際交流協会の方で作ってございまして、全県の小・中・高に行っていて、相当の国数で、親善大使というのが約 100 名おりますが、学校から要望があったところへ、例えばインドだったらインド、現場の人達の話しを聞きたいということで、大使と言っても大学生がほとんどですけど、現場に行つてこういうことをしています。それと同時に、つくば市の方でも同じようなものを父兄もできますし、こういうのをやっておりますので、ワールドキャラバンの方は全国的にも、茨城県は一番早く学校現場に各国の人達が教育の中に入っているというのは素晴らしいことではないかなと思っております。

○座長 どこかに J I C A筑波センターという言葉が見えると良いということですが。

○委員 国総研とかもあるから、J I C Aだけつけるともしかすると不平等に

なるかもしれないのですが。そういった国際の方が来ているよ、というのをどこか表現に入れておけば。

○委員 JICAさんも県の方で頼んで学校現場に行っておりますし、青年海外協力隊のOBもかなり学校に入っています。

○座長 研究機関等の中に、JICAが入っていると良いのですが。

○委員 JICA筑波というのが見えるような形で工夫させてください。

○座長 特にJICAも色々な活動をされているのですが、その中でも特に市民活動が見える場所にならJICAと書いても良いかもしれませんね。

○委員 JICA筑波の研修生との触れ合いというのもありますし、JICAのボランティアへの参加を促進することで、グローバルな人材を育成できるという面もあると思うので、もし市の方でこうした国際協力への参加を促進するような取り組みをしているのであれば、こういうことも計画に入れていいのではないかと思います。国際協力に関することがあまり入っていない印象があったので、もし市として今後もそういうことに一生懸命取り組むということであれば、計画に入れたら良いかなと思いました。

○委員 県は目次で入っていて、つくばは入っていないですね。ただ今後国際を集中してやる場所は集中して、取り組みの場所は取り組むって大枠に入れておけば、そんなに集中しないで…。市長表敬とかってやりますよね。

○事務局 やっています。市報でもそういった依頼があれば、市報に掲載、ホームページに掲載ということでさせていただいております。

○座長 J I C Aの事業活動の中にそもそもつくば市がどういう風に入り込んでいるか分かりませんが、ただJ I C Aの事業活動の中には地域への貢献もありますので、そういう意味で結構積極的に講師なんかをつくば市に限らずやっていますよね。そういう部分では、J I C Aの名前が見えてもよい。

○委員 協力隊の事業自体はJ I C Aさんの事業ですけれども、県にせよ市町村にせよ協力隊への参加促進のためのPRをやっていると思うので、そうした国際協力に関する取り組みを計画に入れることはできると思います。

○座長 ちょっとそのへんを見えるように

○事務局 はい。J I C A職員とは近い関係にありまして、昨日なんかはJ I C Aのスタッフとランチをしており、去年のまつりつくばの跳人に参加させていただいて、市の職員と一緒に跳ねたりとかそういったことをしております。そういう意味では、入れさせていただきたいと思います。

○座長 J I C Aという文字がどっかに入ると良いかもしれないですね。他に何か。

○委員 細かいところなのですが、25 ページ③インバウンドに対応した

環境の整備の最後の3行くらいのところですが、商業施設内における観光案内の多言語化・・・とありますが、商業施設だけでなく、観光施設も少し入れていただけると良いかなと思いました。

○委員　これは15ページのところとかぶっていますけど良いのでしょうか。⑤都市施設のグローバル化対応の推進とあって、案内版ってちょっとニュアンスが違うのかな。

○事務局　一般的には道路ですね。今おっしゃったのは観光。インバウンドに特化した…。

○座長　余談ですが、市内のショッピングモールに行くとお店が全部横文字ですね。国際化していると思うのだけど。

○委員　でも英語としての意味はないから。変な言葉ばかりだから。

○委員　私もすごく気になっていますよ。どうせ英語で書いたら正しい英語で書いてくださった方がよく、どうせ新しく作るなら尚更です。まあこれはこの課題ではないのでしょうかけれど。

○委員　あるショッピングモールの店舗名は、意味がめちゃくちゃ。だから分かっているけども損。

○座長　なるほど。耳触りが良ければということですね。それでは、一応ここで会議を終わります。

3 その他

- 事務局
 - ・パブリックコメントを7月に実施する予定
 - ・次回の日程調整について、8月のお盆前頃を予定。（各委員の予定を把握し、座長と相談の上決定）

4 閉式